

施策評価シート

対象事業年度 平成 30 年度

施策5

政策	Ⅲ 安全・安心な港	施策推進責任者	建設部長
施策	5 港の安全性・信頼性の向上		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	防護機能の強化により背後地域を高潮や津波から守り、災害に強い港湾機能を提供することにより、人びとの安全な暮らしに貢献し、施設利用者が安全安心に利用できる、信頼される港
	サービスの対象物(何を)	高潮防波堤や防潮壁などの防護機能や港湾機能		
展開①	背後地域を津波、高潮から守る防護機能の強化	港湾施設の計画的な更新・強化による安心・安全な港湾機能の提供	展開②	港湾施設等の耐震化による安全性の向上
	高潮防波堤の改良事業や防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門等の補強対策を進めることにより、津波、高潮などの海岸災害に対する防護機能を強化します。	港湾施設の老朽化に対し、予防保全の観点から計画的な維持管理に取り組み、利用者へ安心・安全な港湾機能の提供を行います。	展開③	港湾施設等の耐震診断や耐震補強などを行うことにより、災害時における施設の安全性の向上に取り組みます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・5年間の状況・令和元年度以降の取組)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の状況	令和元年度以降の取組
			1段目:指標 目標値	2段目:指標 実績値	3段目:事業費(単年度・人件費込・国費除く)	4段目:各年度の状況			

【展開①】背後地域を津波、高潮から守る防護機能の強化

施05 事101	高潮防波堤(改良)整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】	70.2%	89.9%	100.0%			完了	
			71.1%	89.9%	100.0%				
			1,346,828千円	696,289千円	550,678千円				
			順調	順調	順調				
施05 事102	防潮壁(改良)整備事業 (事業推進課)	整備完了地区数 【進管理型】	-	1地区	2地区	2地区	2地区	順調	重点施策として位置付け継続
			-	1地区	1地区	2地区	2地区		
			424,283千円	174,580千円	596,226千円	232,759千円			
			-	順調	遅れ	順調	順調		
施05 事103	防潮扉(改良)整備事業 (事業推進課)	防潮扉の改良数 【進管理型】	46箇所	44箇所	49箇所	54箇所	57箇所	順調	継続
			40箇所	44箇所	49箇所	52箇所	54箇所		
			10,819千円	114,977千円	72,440千円	33,416千円	25,505千円		
			遅れ	順調	順調	順調	順調		
施05 事104	堀川口防潮水門の地震・津波対策 (工事課)	既設躯体への耐震補強工事 完了までの進捗状況 (全4工程) 【進管理型】	2工程	3工程	3工程	3工程	3工程	順調	継続
			2工程	3工程	3工程	3工程	3工程		
			139,573千円	46,502千円	145,338千円	254,200千円	243,963千円		
			順調	順調	順調	順調	順調		
施05 事105	中川口通船門の地震・津波対策 (工事課)	既設躯体への耐震補強工事 完了までの進捗状況 (全4工程) 【進管理型】	2工程	3工程	3工程	4工程	4工程	完了	
			2工程	3工程	3工程	3工程	4工程		
			162,899千円	143,820千円	583,648千円	804,628千円	428,910千円		
			順調	順調	順調	やや遅れ	順調		
施05 事106	海岸保全基本計画 (名古屋港海岸)の見直し (計画担当)	海岸保全基本計画見直し までの進捗状況 (全6工程) 【進管理型】	5工程	6工程				完了	
			5工程	6工程					
			6,959千円	6,387千円					
			順調	順調					

【展開②】港湾施設の計画的な更新・強化による安心・安全な港湾機能の提供

施05 事201	大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】	7.4%	9.6%	33.6%	57.3%	84.9%	やや遅れ	継続
			2.8%	9.7%	32.4%	55.7%	66.7%		
			114,869千円	281,649千円	930,142千円	889,974千円	425,629千円		
			やや遅れ	順調	順調	順調	やや遅れ		
施05 事202	港湾施設等の維持補修 (維持管理推進担当)	港湾施設等アセットマネジメント推進 計画に基づく補修施設数 【進管理型】	-	-	55箇所	110箇所	165箇所	順調	継続
			-	-	57箇所	115箇所	172箇所		
			-	-	1,875,565千円	1,823,187千円	1,583,902千円		
			-	-	順調	順調	順調		
施05 事203	港湾施設等 アセットマネジメントの推進 (維持管理推進担当)	港湾施設等アセットマネジメント推進 計画策定の工程 (全6工程) 【進管理型】	6工程	6工程				完了	
			4工程	6工程					
			29,951千円	31,217千円					
			やや遅れ	順調					

【展開③】港湾施設等の耐震化による安全性の向上

施05 事301	建築物耐震対策整備事業 (施設工事担当)	名古屋港管理組合所管の 建築物の地震対策率 【進管理型】	74%	74%	84%	86%	90%	順調	継続
			74%	74%	84%	86%	90%		
			19,953千円	124,086千円	281,466千円	213,767千円	215,538千円		
			順調	順調	順調	順調	順調		
施05 事302	港湾施設等の耐震性の検証 (工事課)	事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】	100%					完了	
			100%						
			21,807千円						
			順調						
		施策コスト(合計)	1,853,658千円	1,869,210千円	4,613,857千円	4,615,398千円	3,156,206千円		

3. CHECK(成果目標の状況・5年間の成果目標の総括)

施策 成果目標	実績等		年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の成果目標の総括
	目標値	km		0.94	1.28	1.66	1.77	1.94	
防潮壁等の機能強化を行った整備延長	実績	km		0.94	1.30	1.59	1.97	2.00	・防潮壁の地震・津波対策及び老朽化対策については、目標値が達成できました。 ・部分的な損傷による港湾施設利用への影響はあったものの、「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」に基づき維持管理を行い、老朽化や故障などを理由に使用停止した施設はありませんでした。
老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設の数	実績	件		0	0	0	0	0	

4. ACTION(課題・令和元年度以降の取組)

5年間の達成状況		課題	令和元年度以降の取組	
展開①	<p>【事101】高潮防波堤(改良)整備事業として、平成28年度に上部工のかさ上げ等が完了し、老朽化対策、耐液性の向上が図られました。【平成28年度完了】</p> <p>【事102】防潮壁(改良)整備事業は、2地区(大手ふ頭南地区、鴨浦地区)が完了、3地区(築地東ふ頭地区、潮見ふ頭地区、昭和ふ頭地区)の地震・津波対策及び3地区(大江ふ頭地区、昭和ふ頭地区、船見ふ頭地区)の老朽化対策に着手し、海岸保全施設の機能の回復・強化に向け進捗が図られました。</p> <p>【事103】防潮扉(改良)整備事業は、アルミ化(23カ所)と壁体化(31カ所)を実施し、海岸保全施設の機能の強化に向け進捗が図られました。</p> <p>【事104】堀川口防潮水門の地震・津波対策については、3号及び4号通航水門の躯体の耐震補強工事を完了し、2号通航水門の耐震補強工事に着手し、防護機能の強化に向け進捗が図られました。</p> <p>【事105】平成30年度に中川口通航門の前扉室左岸及び後扉室左岸について耐震補強工事が完了し、地震・津波対策が完了しました。【平成30年度完了】</p> <p>【事106】海岸保全基本計画(名古屋港海岸)の見直しについては、本組合が管理する海岸保全施設(防潮壁、防潮扉等)の整備計画について、愛知県等の関係機関と調整を行い、「三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画」への位置付けが完了しました。【平成27年度完了】</p>	<p>【事102】防潮壁の改良は、整備に必要な予算を確保する必要があります。また、防潮壁背後には事業所等が立地し、狭隘な場所での施工となるため、関係者調整を行いながら事業進捗を図っていく必要があります。</p> <p>【事103】防潮扉の改良は、工事期間中の通行制限などが港湾活動や企業活動に大きな影響を及ぼすことから、利用者調整を行いながら進めていく必要があります。</p> <p>【事104】堀川口防潮水門の地震・津波対策は、背後地の安全性向上に必要不可欠なものであり、継続して事業を進めていく必要があります。また、既存の水門は高潮対策に主眼を置いた構造であることから、津波への対策を更に強化する必要があります。</p>	<p>【事102】防潮壁の改良は、整備に必要な予算確保に努めるとともに、平成29・30年度に実施した耐震性調査の結果に基づき、整備の優先順位等について検討を進め、重点的に整備の進捗を図っていきます。</p> <p>【事103】防潮扉の改良は、令和元年度の完了を目的に整備を推進していきます。</p> <p>【事104】堀川口防潮水門は、令和3年度の完了を目的に躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の整備に向けて検討を進めていきます。</p>	
	展開②	<p>【事201】大江ふ頭耐震強化岸壁の老朽化対策のため、岸壁改良(地盤改良、控え鋼管杭打設、既設鋼管矢板補修等)に着手し、施設の長寿命化に向け進捗が図られました。</p> <p>【事202】平成28年3月に「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」を策定し、この計画に基づき施設の維持補修を行い、必要な性能、機能の回復に向け進捗が図られました。</p> <p>【事203】総合的かつ戦略的な維持補修のマネジメントを構築することを目的とした「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」を平成28年3月に策定し公表しました。【平成27年度完了】</p>	<p>【事201】大江ふ頭耐震強化岸壁は、鉄道車両や航空機部品などを扱っており、岸壁利用に大きな支障が出ないよう事業を実施する必要があります。</p> <p>【事202】「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」に基づき、計画的な維持補修に努め、施設の長寿命化を図る必要があります。</p>	<p>【事201】大江ふ頭耐震強化岸壁は、令和元年度の完了を目的に利用者調整を図りながら事業進捗を図っていきます。</p> <p>【事202】「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」に基づき、引き続き、令和7年度まで集中的に補修を進めていきます。</p>
	展開③	<p>【事301】建築物耐震対策については、名古屋港管理組合が所管している建築物(防災施設、福利厚生施設、上屋等)の耐震診断を実施し、耐震性能が不足する建築物について地震対策を順次実施し、港の安全性・信頼性の向上に向け進捗が図られました。</p> <p>【事302】堀川口防潮水門及び中川口通航門の躯体について、平成26年度に耐震補強策の検討を行い、港湾施設等の耐震性の検証を完了しました。【平成26年度完了】</p>	<p>【事301】建築物の地震対策は、港の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続して事業を進めていく必要があります。</p>	<p>【事301】耐震性能が不足する建築物の地震対策を引き続き行っていきます。</p>
今後の新たな取組方針				
<p>・大江川地区の地震津波対策については、背後地盤が低く、また防潮壁は河川堤と連続して水際線に配置されていることから、名古屋市と協力して、防護ラインの変更を行うとともに、地震に伴う液状化による汚染土壌の拡散防止などに取り組みます。</p>				